



議会だより

な お し ま

2021 No. 194
令和3年1月12日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)

頌春



ハイ、ポーズ！（園外保育で直島探検）

	議 副 議	明
〃 〃 〃 〃 〃 〃	議 員	け
	員 長	ま
		し
		て
		お
		め
		で
		ご
		う
小 宮 中 西 山 山 松 浜 井		す
野 原 根 岡 上 下 島 口 下		ま
孝 三 清 西 山 山 松 浜 井		さ
一 郎 孝 喜 広 一 子 玲 俊 敏 良		し
		ま
		す

水際対策に有効では(町長報告)..... 2P

デジタル社会モデル地区に(一般質問)..... 6~8P

県道側溝に溝蓋フタを(あれ、どんなとん)..... 9P

行政に関心を持ち続けたい(中学生1日議会体験記).... 10・11P

「すみません」から「ありがとう」に(U・Iターン者に聞く)..... 12P



小林町長

水際対策に有効では

設置は
屋内でないと

(主なもの)

- 9月20日 赤羽国土交通大臣がベネッセ・地中海美術館他の視察のため来島されました。
- 9月29日 香川県との意見交換会に淀谷政策部長他が来庁されました。
- 10月21日 四国港湾協議会意見交換会が都道府県会館で開催されました。
- 10月31日 直島コメづくりプロジェクト2020コメの体験「稲刈り」が開催されました。
- 11月4日 第37回1日議会体験学習が開催され、中学3年生から15件の一般質問がありました。
- 11月9日 令和2年度県知事・県議会議長への要望及びトップ政談会が県庁で開催されました。

主な質疑

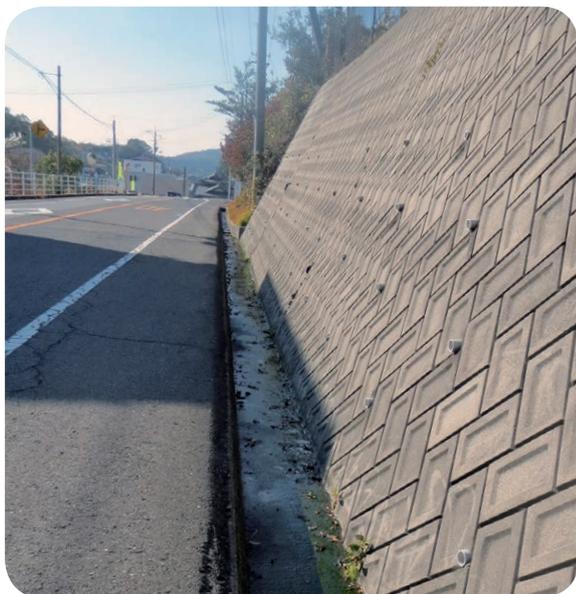
県に要望している

Q

(中根) 以前、一般質問で県道側溝に溝蓋が必要と言ったが、その後どうなっているのか。

A

(建設経済課長) 県に要望し、現地確認もしている。早ければ、年明けにも工事の発注をして、予算の都合で一期か二期になるかの進捗状況だ。



溝蓋の設置は

水際対策に有効では

Q

(浜口) サーマルカメラ付き非接触型体温計の寄付をいただいているが、どのくらいするものか。また、水際対策として効果があると思うが、町で購入して港等に設置しては。

A

(町長) 値段はわからない。設置場所は屋内でないと効果がない。

どんな会社

Q

(松島) ご寄付いただいた真田トラストは、どんな会社か。

A

(町長) 真田電気という会社と聞いている。横防外ヶ浜にある宿泊施設を運営している。

新たな事業展開は

Q

(宮原) 福武財団の方が訪問されているが、町内で新たな事業展開の話があったか。

A

(町長) 新たな事業展開の話はなかった。

直島に取り入れることがあったか

Q

(西岡) 経済と暮らしを支える港づくり全国大会に出席しているが、直島に取り入れるなら良いようなことがあったか。

A

(町長) 取り入れることがあったかというより、この大会は来年度の港湾関係の予算を獲得するという意志決定の大会だった。



サーマルカメラ付き体温計 (診療所に設置)



鳴井教育長

クイズ形式で
授業展開

豊かな国際感覚の育成が テーマ

(主なもの)

- 9月11日 学習参観並びに人権教育講演会が、小学校で開催されました。
- 9月30日 文部科学省教育課程特例校として、英語科の公開校内研究授業が中学校で開催されました。
- 10月15日 第4回幼小中合同研修会が、小学校で開催されました。
- 11月4日 中学校3年生の1日議会体験学習が開催されました。
- 11月9日 教育文化祭反省会及び文化協会代表者会が開催されました。
- 11月9日 ヘキ地教育に関する人事予算の要望が県庁で開催されました。
- 11月26日 教育委員会定例会が開催されました。

主な質疑

授業内容は

Q (西岡) 文部科学省教育課程特例校としての英語科の公開校内研究授業が中学校で開催されているが、授業の内容は。

A (教育長) コミュニケーション能力と、豊かな国際感覚の育成がテーマであり、質問をクイズ形式で出す授業展開だ。



積極的に手をあげて

現時点での開催内容は

Q (小野) 卒業式・入学式、現時点での開催内容は。

A (教育長) 卒業式・入学式の日程は決まっているが、コロナの感染状況によっては、今年度のように卒業生・保護者・先生方だけの式典になるか、現時点では回答できない。

意見の内容は

Q (宮原) 教育文化祭反省会での意見の内容は。

A (教育長) 作品は年々進化しているし、新しい企画も入れながら、教育文化祭が充実しているとの意見が多かった。

何を要望したのか

Q (西岡) ヘキ地教育に関する内容で、県に要望した内容は。

A (教育長) 専門教科教員の配置を毎年県に要望をしている。

配布・指導したか

Q (浜口) 以前、下校時に交通事故を防ぐためにも、蛍光反射グッズを配布してはと要望したが、グッズを付けている生徒が少ないのが現状だ。

配布と指導をしたか。

A (教育長) 10月末に配布した。再度担当の先生に配布だけではなく、着用して車の運転者にわかるように指導した。

植樹活動とは

Q (山上) 元婦人会による植樹活動は、どういった経緯と実施内容なのか。

A (教育長) 婦会会がなくなったことで、何か記念になるものと、桜の木を寄付していただいた。



記念の桜の木



子どもたちの命を守る

委員会レポート

経済・民生

小野 委員長

どうする 枯れた松

○10月12・13日 敬老会
記念品の配布

〔住民福祉課〕

A 4割ほど減収に
なっている。

Q コロナの影響で
診療所の収入はど
うなっているか。

〔コロナが影響〕

〔ふれあい診療所〕
(令和2年4月から10月)
○外来患者 6264人
○入院患者 368人
○時間外救急患者 229人

○10月2日 ノルディック
ウォーク講習会

〔健康推進室〕

○9月17日 親子ふれあ
い交流会

A 道を歩いてい
て、ひとり暮らし
の方にたまたま出会った
りした時、声をかけて少
し話をしたりする。

〔ひとり暮らしの
人への声かけと
は、どんなことをするの
か。〕

○11月13日 文教区自治
会と懇談会

○10月31日 コメづくり
プロジェクト2020
コメの体験「稲刈り」
が開催

〔建設経済課〕

○10月2日 つり公園で
キジハタの稚魚約30
00尾を放流

A 今年度だけの補
助だ。

〔高齢者へのイン
フルエンザ予防接
種の県補助は、来年度以
降もあるのか。〕

来年度県補助は
高齢者へのイン
フルエンザ予防接
種の県補助は、来年度以
降もあるのか。



増える枯れ松

A 道沿いの枯れて
いるのが目立つ木
を、予算の範囲内で切っ
するの。

Q 今年は松枯れが
多くあるが、どう
するか。

枯れた松が目立つ

○10月20・21日 チュー
リップの球根を配布
余った球根の配布先は

〔環境水道課〕

A チューリップの
球根は565袋が
配布されているが、用意
した数は、
700袋ぐらい
用意し、余りは学
校や町の施設に配布した。

ていく予定だ。

○8月20日 エコアイラ
ンドなおしま推進委員
会が開催

総務・文教

山上 委員長

ノー！ コロナハラスメント

〔総務課〕

輸送艇が事故

10月21日 救急患者等
輸送艇が屏風島に航行
中、浅瀬の岩場に接触し、
エンジン等が損傷した。
現在、玉野市の造船所で
修理をしている。修繕に
係る補正予算は専決にて
お願いしたい。

〔委員から〕

救急搬送業務に支障の
ない対応並びに今後の安
全航行の徹底を要望した。

町内コロナの発症

11月11日 第一報を受
け対策本部を直ちに設置
し、診療所などの休診の
決定、関係施設の消毒の
実施、ふれあい通信での
住民への周知並びにコロ
ナハラスメント防止の啓
発を実施した。

〔委員から〕

現在、誰が感染しても
おかしくない状況である
ので、誹謗中傷がないよ
う十分な啓発を実施する

とともに、来島者へのマ
スク着用の徹底を再度お
願いしたいと要望した。

〔まちづくり観光課〕

町営バス運転手の確保

現在、JR四国の運転
手2人に協力してもらい
運行しているが、これに
ついては臨時的な措置で
あることから、他のバス
会社との協議をしている。



空き家を整理中

空き家片付け大作戦

10月3日 地域おこし
協力隊とボランティアに
より第1回目の取り組み
として、女性専用シエ
ハウスになる空家物件の
整理を実施した。

〔教育委員会〕

お月見ウォーキング

10月2日 ノルディッ
クウォーク講習後、海
駅から地中美術館チケ
トセンターを往復
参加者 57人

教育文化祭

11月3・4日
出品作品数 1191点
来場者数 806人

人事

委員さん
よろしく

高田 治氏を再任



高田 治氏

任期満了に伴う教育委員会委員として、高田治氏の任命に全員賛成で同意しました。

なお、任期は令和3年3月10日から令和7年3月9日までの4年間。

救急患者等輸送艇を修理



修理が完了した「あさかぜ」

専決処分

救急患者等輸送艇の早急な修繕をするための一般会計補正予算（専決処分）を全員賛成で承認しました。

- 歳入
繰越金 1700万円
- 歳出
修繕料 1700万円

職員住宅として整備します



職員住宅として再利用（旧横防老人ホーム）

令和2年度 補正予算

一般会計

歳入・歳出予算の総額に215万円を追加し、それぞれ37億5289万円となりました。

- 歳入の主なもの
国庫補助金 215万円追加
- 歳出の主なもの
横防職員住宅改修工事 169万円追加
戸籍システム改修業務 215万円追加

問う

作成しています



浜口 議員

デジタル社会推進モデル地区に

〔町長〕 避けては通れない道

小林町長は、10月23日付の四国新聞で、菅内閣におけるデジタル改革担当大臣に就任された平井卓也大臣に、就任のお祝いメッセージとともに、「このデジタル化の普及・

島町が「デジタル社会の推進モデル地区」となり、住民生活を飛躍的に向上させるため、平井デジタル改革担当大臣との親密な連携づくりにとり掛かるべきではないか。

A (町長) 平井衆議院議員がデジタル

改革担当大臣に就任されたことは当町にとつてもたいへん喜ばしい。

飛躍的に向上するような施策を打ち出していただけでなくことをぜひとも期待します」とエールを送った。「デジタル改革担当大臣」は、菅内閣の改革の要とも言える重要なポストであり、日本のデジタル化を先進国並みに押し上げるため、来年9月のデジタル庁創設に向けて邁進されている。

香川県選出の平井大臣がこの重要ポストにいるという願ってもないこの環境は、最大のチャンスだ。そんな中、お膝元の直

②マイナンバーカードの普及や利用促進を図るため、健康保険証や免許証など資格情報を統合して、行政サービスの手続

きの簡素化の仕組みを構築する。

また、将来に向けて、医療・教育などのオンライン化に向けた検討。各省市単位で進めてきたデジタル化に関する企画立案を一元的に担う体制の検討など、デジタル庁にはこれまでに成しえなかった膨大かつ複雑多岐にわたる諸問題を解決していく役割が求められている。

当町においてもデジタル化の流れ・推進について、どう対応していくか検討していく必要がある。しかし、行政サービスのデジタル化が進めば、個人情報漏洩や不正利用など住民の不安要素も大きくなるが予想されるので、大臣には「セキュリティ対策に万全を期すこと」「住民にわかりやすく利用しやすい仕組みづくり」をお願いしていきたい。

県内市町とも連携し、引き続き情報収集に努め、導入費用等について

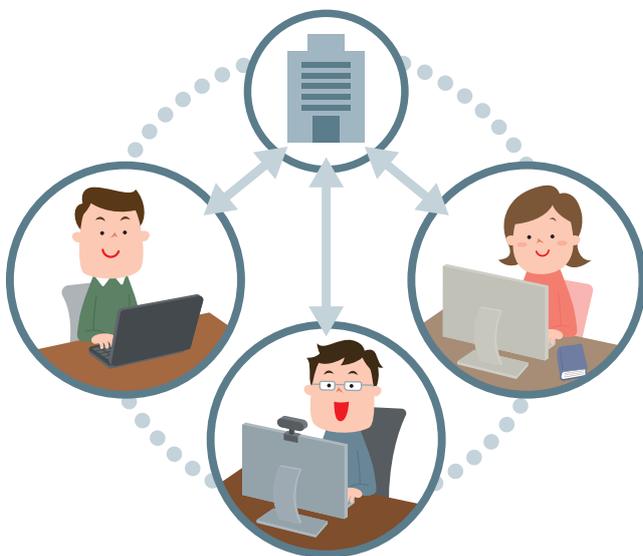
も国の支援をお願いしたいと思っている。日ごろから平井大臣とは密接な連携づくりを図っている。

Q 小さい町だからこそできることがある。

デジタル庁が創設されればいやおうなしにデジタル化の波が押し寄せる。当町のデジタル化について町長の考えは前向きか。

A (町長) 当町もデジタル化の推進については「避けては通れない道」だと理解している。

デジタル庁が創設されたらなにをやるのかわかってくる。できるものから少しずつ、国の動向を調査しながら前へ進めていきたい。



避けては通れないデジタル社会

町長に

質問者の責任において



宮原 議員

〔町長〕 県公表以外は差し控える

感染対策 詳細な説明を

知する方が、町に対する

「沈黙は金」などの名言はあるが、今回の消毒を町職員で行ったということ、むしろ町民に周知する方が、町に対する

先の合同常任委員会で関係施設等の消毒は、町職員が行ったという報告を受けた。これは大変素晴らしいことだ。

〔町長〕 プライバシー保護の観点から県が公表した内容以上のものは差し控える。

① ふれあい通信で、町内で新型コロナウイルスの感染者が出たこと。また、町は東讃保健福祉事務所などと連携し、感染防止に全力で取り組んでいるという放送があった。

そこで、町は実際に具体的にどのような取り組みをされたのか明確かつ詳細な説明を伺う。

県と町の協同で 情報公開を

町民の信頼も増し、より安心するのではないかと考える。町長は個人情報に優先し過ぎる感がある。「個人情報」と「知る権利」は相反するものである。しかしながら、それらについていかにバランスを調整し、考慮して周知を行うかが大切だ。

② 町民の方から新型コロナウイルスに係る診察、PCR検査、陽性者が出た場合の情報が、町民に対して十分でないと言われた。私も同様に思い、そこで、6月定例会の一般質問で、町民に対する新型コロナウイルスの周知が県と町とがバラバラなので、県と町とが合同して連携した周知文書を作成し、町民に対して広報すべきと町長に質

〔町長〕 個人情報は大変なものとして認

これらについての感想は。

高松市でも同じく住民に情報を公開している。

その公開した情報は町長と議長との連名で感染者の所属名まで明記し、施設等の消毒や濃厚接触者の把握情報、PCR検査などの情報を合わせて町民に公開した。

〔町長〕 承知している。

隣の小豆島町の役場職員1人が新型コロナウイルスに感染した。そこで、小豆島町は緊急情報としてホームページで、その職員の所属名を明記して情報を公開した。それをご存じか。

〔町長〕 承知している。

問した。その時、町長は必要ないと回答したが、今まさに非常に大切な時期にある。再度、県と連携した文書の作成について検討されるかお聞きする。

〔町長〕 個人情報は大変なものとして認

これらについての感想は。

高松市でも同じく住民に情報を公開している。

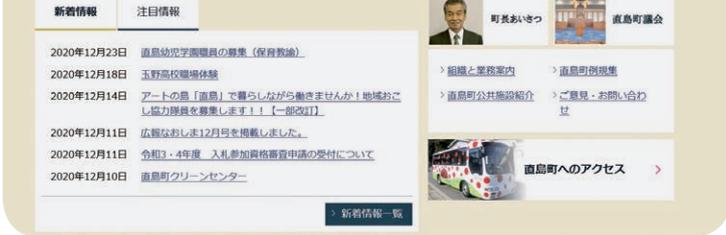
その公開した情報は町長と議長との連名で感染者の所属名まで明記し、施設等の消毒や濃厚接触者の把握情報、PCR検査などの情報を合わせて町民に公開した。

〔町長〕 承知している。

隣の小豆島町の役場職員1人が新型コロナウイルスに感染した。そこで、小豆島町は緊急情報としてホームページで、その職員の所属名を明記して情報を公開した。それをご存じか。

〔町長〕 承知している。

識しているもので、所属先まで公表したくない。



ホームページで情報公開を

が、今後、町職員が感染した場合、小豆島町等のようにホームページで情報公開をするかどうかの検討をされるか。

〔町長〕 個人情報は最大限の配慮を控える。

〔宮原〕 私は小豆島町等のようにホームページを利用して、緊急情報として（氏名や住所というきわめてプライバシーの強い情報は公開すべきではないが、所属名は明記して）住民に公開すべきと考え



西岡 議員

子どもたちのために公園整備を 安全確保とニーズを考慮

公園で子どもたちが遊び、父兄が笑顔で話し合う姿を見かける。このように公園は親と子、地域の方々とふれあいの場であり、交流の場であると思う。

る。

また、積浦人材育成センターにある公園は、集会所及び消防屯所の建設が予定されており、公園がなくなると聞いています。公園移設の計画はあるのか。

子どもたちは、遊びから学ぶこともあり、公園の整備と設備の充実は重要であると考えています。

A

(町長) 南寺ポケットパークには、小規模のものであるが、複合遊具の3種類を設置している。どの遊具も複数人が同時に遊ぶことができるものになっている。

また、遊具の安全に関する基準は非常に厳しいものがあり、利用する子どもたちの安全を確保するため、十分なスペースを確保する必要があり、遊具を一つ設置するだけでも広場のスペースがなくなってしまう問題もある。

る。

子どもたちの安全の確保や地域のニーズなども考慮し、遊具の新設や老朽化した遊具の更新を考

積浦の公園については、集会所及び消防屯所の建設により、子どもたちの遊び場がなくなるので、新しい公園整備の計画を進めている。



遊具を増やして



松島 議員

町立診療所 カード払い導入を 時期が到来すれば進める

現在の社会の流れは限りなくキャッシュレスの方向だ。中断しているインバウンドも東京オリンピックを境に復活することが考えられる。この変化の中で当町への外国人来訪も復活し増加する。外国人の大部分はキャッシュレスが主流だ。当然外国人受診者も増加す

A

(町長) 山下議員への答弁は『時期

る。この潮目の変化に対応するためにも導入は必要と考える。この質問は昨年の山下議員の質問と主旨であるが、この時は『時期尚早』の答弁であったと記憶する。今般は『時期到来』と考え、再度質問する。

Q

残念な答弁だ。高いハードルはたくさんあると思うが、ハードルクリアには時間を要する。早急な立ち上

げが望まれる。事業の展開は「町長のヤル気と能力」だ。積極的な取り組みを望む。

A

(町長) 行政サービスデジタル化の検討とともに『避けて通れないもの』と理解している。



キャッシュレス導入を

臨時議会

発熱外来診療室を新設

10月8日臨時議会を開催し、ふれあい診療所の発熱外来診療室の新設、老朽化した空調機の更新を実施するための補正予算2件並びに契約議案1件を可決しました。

補正予算

一般会計

- 歳入の主なもの
10,376万円追加
- 国庫支出金
10,376万円追加
- 歳出の主なもの
診療所会計操出金
10,376万円追加

特別会計

診療所事業

- 歳入の主なもの
繰入金
10,376万円追加
- 歳出の主なもの
設計等委託料
679万円追加
- 発熱外来等整備
1,870万円追加
- 空調設備更新
7,827万円追加

物品購入契約



- 契約の目的
直島町学校内学習用コンピュータ等機器購入
- 契約の方法
指名競争入札
- 契約金額
920万円
- 契約の相手方
株式会社四国電子計算センター

宮ノ浦池横から幼児学園までの山側の側溝には溝蓋がないので危険だ。先日子どもが自転車で転落した。溝蓋設置を検討してほしい。

(令和2年3月定例会 中根議員)

県道の側溝に溝蓋を

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題がその後どうなっているかを追跡してお知らせします。

追跡
あれ、どんなやつとん!

答弁

県も現場に応じた対応を検討するとの回答。町道も含め危険箇所を優先的に改良するよう検討していく。

(小林町長)

経過

3月定例会において、町長から検討する旨の答弁があったが、現在の進捗はどうなっているか。

(令和2年12月定例会 中根議員)

答弁

一般質問があった後、すぐに高松土木事務所へ要望して、現地を確認してもらった。現在、設計の段階で、早ければ年明けにも工事が発注される予定だ。

(建設経済課長)



危険な県道側溝に溝蓋を

中学生1日議会体験記



11月4日、第37回中学3年生1日議会が開催され、15の質問で町政を問いました。

再質問もあり、有意義な議会体験となりました。

皆さんに感想文を書いていただきましたが、紙面の都合上6人の生徒の文を紹介します。



答えを聞き深く納得

私は、イノシシ対策について質問させていただきました。私は、一番初めに、質問させていただき、とても緊張しました。イノシシについては、自分たちが通る通学路やイノシシの捕獲率について質問させていただきました。この質問に対して丁寧に答えてくださりありがとうございました。その答えを聞き、深く納得しました。他の人たちの質問についても丁寧に一つずつ答えてくださいました。自分たちが直島のために真剣に考えて本当によかったと思いました。この経験を忘れません。この度は本当に1日議会体験をさせていただきありがとうございました。



秋友 洸駕 君

よりよい社会のために意見を

私はこの議会体験を通して、普段行われている議会がどのようなものかが分かりました。議会の中で挙手をして発言をすることや、町への質問をすることは緊張しましたが面白かったです。また駐輪場の質問について、副町長が丁寧にどのような対応をするのかを説明してくれてとても安心して話が聞けました。私が質問をしている時も、うなずいてくれた方もいて、緊張が少し和らぎました。体験を通して、私はよりよい社会のために意見を積極的に言いたいなと思いました。このような貴重な体験ができて本当に楽しかったです。

今回は本当にありがとうございました。



芝原 百叶 さん

会話力や知識を高めたい

この議会体験を通して議会では事前の調べが重要であることが分かりました。僕はゴミ箱の設置について質問をして回答いただいた後に再質問としてゴミ箱をアート作品として設置する例を挙げました。しかし正確な情報が分からなかったためさらに再質問ができませんでした。僕以外の議員には事前に詳しく調べており、自分が疑問に思ったことを積極的に質問している人もいました。

この経験を通して今後自分の意見を言うために会話力や知識を高めたいです。

今回ウィズコロナの中このような貴重な体験ができたことが大変うれしいです。ありがとうございました。



岡崎 然 君



自分たちの質問で直島を変えられたら

私は直島の街灯の増設について質問させていただきました。自粛期間中の夜間、歩いている人や走っている人を見かけて、暗いのに大丈夫かなと心配になりました。質問をして毎年、設置してくださっていることを知り、感謝の気持ちがあふれ出しました。たすきの件についても検討してくださると言われたので再質問して良かったと心から思いました。

議員席に座り、思っていることを議会で伝えることはとても大変なことなのだと改めて思いました。自分たちがした質問が採用されて、今後の直島を変えることができればうれしい限りです。とても緊張しましたが、ゆっくりと落ち着いて質問することができました。本当にありがとうございました。



西村 望里 さん

緊張したけどたくさん学ぶ

僕は、今回の1日議会体験を通して一人一人が直島を思って意見や質問をすることの大切さが分かりました。僕たちはまだ中学生で議会とはあまり縁がありません。でも、これから大人になるにつれ自分たちにも関わってくることなので今回の体験はとても貴重なものになりました。クラス一人一人の意見に対して担当者の皆さんが真剣に、分かりやすい答弁をしてくださって自分の意見を言う際の参考になりました。

議会では、緊張したけれど学ぶことがたくさんあり勉強になりました。今後もし議会のような自分の意見を主張する機会があったら積極的に意見を言えるような人になりたいです。



津郷 翔南太 君

行政に関心を持ち続けたい

今回、教育長のお話にあったJ・F・ケネディーの「あなたの国が、あなたのために何ができるかを問わないでほしい。あなたが国のために何ができるかを問うてほしい。」という言葉が一番心に残りました。自分が変わってほしい、直してほしいと思ったことには自分の強い意志を持って行動するべきだと思いました。まず、自分の意見を裏付ける正しい情報を集めて、自分の意見を持ち、その意見が実現するよう行動する大切さを学びました。また、自分の立場や利害に関係なく、他人の意見を理解しようとする必要性を感じました。この経験を生かして、直島の行政に関心を持ち続けたいと思います。



廣田 まり香 さん

「すみません」から「ありがとう」に



石塚浩章さん、環ちゃん、真琴さん、泉ちゃん



おいしいタコライスをどうぞ

職がきつから以前から瀬戸内か沖繩への移住を考えていたので、良い機会と思ひ移住を決めました。

新しく積浦地区に、テイクアウト専門店のお店ができました。
今回は、大山農園近くの「フードスタンド 潮の路」の石塚浩章さんご一家に登場いただきました。

Q 直島に住まれて良かったところ、不便なところはありますか。
浩 良かったところはストレスが減ったことです。特に生活音や機械音など余計な音が少なくなること、こんなに気持ち良く過ごせるのかと気がかされました。
Q 不便なところは特にありませんが、町内を出産ができるようになると良いなと思います。
真 良かったところは、自然豊かな場所、のびのびと子育てができることです。東京にいた時は、いつも「すみません」と言いながらベビーカーを押したり買い物をしていました。直島に来てからは、子どもと一緒に歩いていたり優しく声をかけていただいたり、笑顔で挨拶してくださって「ありがとう」と言うことが増えました。不便を感じることはあまりありません。必要な物を必要なだけ買うようになったので、無駄遣いが減った

Q お店を開いてどのくらいになりますか。
浩 10月から営業を始めました。
Q 奥様はどこかでお仕事をされていますか。
真 ベネッセハウスミュージアムカフェに勤務しています。
Q 直島の皆さまに何かメッセージなどお願いします。
浩 移住して4年経ちますが、まだまだ知らないことが多いので、引き続き皆さまにご教示いただければと思います。



まいどありがとうございます

Q 最後にお店のPRをどうぞ。
浩 「フードスタンド 潮の路(しおのみち)」と申します。沖繩やアジアの料理を中心にご提供しております。コロナ禍にあつて、町内の皆さまに食の選択肢が増えることと、食や食文化を楽しんでいただく一助になればと思います。日々営業しております。限定メニューや、沖繩文化にまつわる情報などをインスタグラムやフェイスブックで発信しています。ぜひご覧ください。町民の皆さま向けのサービスもご用意しておりますので、一度積浦まで足を運びただければと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
浩章さん、真琴さん、本日はご協力ありがとうございました。これからも町民や、観光客の皆さんの食事をよろしくお願ひします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ、コロナに明け暮れた年となりました。本格的な冬の到来を迎えた現在、感染者数はますます増加、これまで以上に猛威を振るっているなか、世界中の人々は大きな不安のもとで新たな年を迎えています。

この状況が一日でも早く終息し普段の生活に戻れますように。今年の願いは、これに尽きると思います。議員一同、町民の声を町政に届けることを第一に頑張っていきます。

今年もよろしくお願ひします。
(山上 記)

広報編集特別委員会

- 議長 井下 良雄
委員長 山下 玲子
副委員長 小野 孝一
委員 山上 英一
西岡裕喜広
中根 清孝
宮原 三郎
浜口 敏夫